



各位

2020年12月9日

会社名 株式会社フロンティアインターナショナル  
代表者名 代表取締役社長 河村 康宏  
(コード番号: 7050 マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 清水 紀年  
(TEL. 03-5778-3500)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

2020年6月11日に公表いたしました「2020年4月期 決算短信[日本基準](連結)」において、「未定」としておりました2021年4月期第2四半期(累計)の連結業績予想(2020年5月1日~2020年10月31日)を下記の通りとしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想について

(1) 2021年4月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2020年5月1日~2020年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前期第2四半期実績(A)	百万円 6,462	百万円 684	百万円 685	百万円 444	円 銭 102.6
今回発表予想(B)	6,655	294	411	284	63.82
増減額(B-A)	193	389	273	159	
増減率(%)	3.0	56.9	40.0	35.8	

(2) 公表の理由

2021年4月期第2四半期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績予想の合理的な算定が困難であったことから「未定」としておりましたが、以下に業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

プロモーション領域については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大型イベントを中心に中止又はオンラインで開催規模を縮小して実施となる場合が相次いで減少を余儀なくされましたが、人材領域については、全国9地点に営業拠点を有する当社グループの優位性を活かして、大手企業様より全国販促キャンペーンを受託したこと等で大きく伸長し、プロモーション領域の穴を埋める結果となりました。

ただ、収益性に関しては、上述した全国販促キャンペーンは戦略的に受託したこともあり、前年同期実績を下回っております。こちらについては、今後当社直接雇用社員のアサインの増加等を通じて改善を図ってまいります。

2021年4月期の通期業績予想につきましては、直近でも新型コロナウイルスの感染者数が増加して、依然として収束の兆しが見えておらず、大規模国際イベントの動向や年末及び年度末商戦に与える影響が不確実性の高い状況となっていることから、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であるため、引き続き「未定」としております。

今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします。

業績予想値につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上